

令和7年度 江戸川区立第三松江小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	生きる力を養う ・考える子（確かな学力） ・思いやりのある子（健やかな体） ・元気な子（健やかな体）	目指す学校像 ○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 目指す生徒像 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 目指す教師像 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの本校の現状	成果 ・子どもの主体性を促す問題解決的な学習等の指導の研究推進 ・いじめや不登校に対する組織的対応の努力 ・コミュニティ・スクールモデル校として学校・地域・家庭の連携の基盤づくり ・組織的学校の運営と働き方改革に基づく取組の進展	課題 ・学習指導要領に基づく思考力等の育成の具現化 ・靴そろえやあいさつなどの基本的な生活習慣の定着 ・コミュニティ・スクールモデル校として学校・地域・家庭の連携の充実 ・教職員の自律的組織的学校の運営の定着と働き方改革の一層の推進

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○思考力表現力判断力等を養うための授業の改善・充実	①算数を中心に思考力表現力判断力等を養う「問題解決的な学習」の充実	①ア校内研究や授業観察検証60回 ①イ学習指導要領学年内容90%以上	67%		C	①学力調査 国語：国より-1.8P 算数：国より+1P 自己評価：成果AB66.7% 算数CD層重点に授業改善	B	保護者：思考力等の育成や問題解決的な学習の取組がよい。算数の向上に期待する。	A	①区学力調査 国語算数：全国水準より上 A層10%増 D層10%減 自己評価：AB91.2%	A	評価委員：算数を中心とした思考力等の育成や問題解決的な学習の取組を推進するのはよい。	校内研究：算数を中心とした問題解決的な学習文章に関する情報活用能力の育成充実
	○知識・技能の定着を図るための取組の充実	②繰り返し指導や個に応じた指導の充実 ③家庭学習や放課後補習教室の継続実施	②③学習指導要領学年内容90%以上	63%		C	②全学級繰り返し指導や個に応じた指導の実施 ③よむYOMU等の実施 自己評価：取組83.3%成果AB63.3%	B	保護者：家庭での学習習慣を定着させたい。個に応じた宿題の量を期待したい。	A	②全学級繰り返し指導や個に応じた指導の実施 ③家庭学習の一層の充実 自己評価：成果AB92.9%	A	保護者：家庭での学習習慣を定着させたい。 評価委員：個に応じた家庭学習を推進してほしい	繰り返し指導・立ち戻り指導の充実 江戸川っ子Study weekを活用した家庭学習
	○読書科の更なる充実	④社会や自然等の探究的な学習活動の実施 ⑤図書・図書館を活用した授業の実施	④探究的な学習 学級3回以上 ⑤図書活用授業 学級3回以上	70%		B	④人や社会、自然に関わる探求的学習の実施 ノートにまとめ ⑤学年毎の読書冊数の設定と推進 図書ボラ読み聞かせ実施	B	保護者：更に学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。家庭でも読み聞かせができるようになることよい。	B	④人や社会、自然に関わる探求的学習の実施 ノートにまとめ ⑤学年毎の読書冊数の設定と推進 図書ボラ読み聞かせ実施	B	保護者：さらに学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。	区読書科指導指針に基づく指導の充実 中央図書館との連携
体力の向上	○体力・運動能力の向上を図るための取組の充実	⑥区取組 短縄跳び週間の実施	⑥児童が自ら設定した級達成90%以上	73%		B	⑥自己評価：取組AB86.7% 成果AB73.3% 全学級 区取組「短縄跳び」実施	B	保護者：短縄跳びを継続して取り組んでいる点が良い。一層の体力向上を期待する。	B	⑥自己評価：取組AB83.8% 成果AB80.8% 全学級 区取組「短縄跳び」実施	B	保護者：短縄跳びを継続して取り組んでいる点が良い。日常的な体力向上を更に充実させてほしい。	体育授業 問題解決的な学習の取り入れ 運動遊びの学級展開
	○特別支援教育の充実	⑦日常体育と運動遊び等の充実	⑦ア学習指導要領学年内容90%以上 ⑦イ運動遊び習慣（体育館）学年10回	73%		B	⑦自己評価：取組AB86.7% 成果AB73.3% 全学級 運動遊びの実施 習慣化が課題	B	保護者・子どもが親しめる運動遊びがよい。一層の体力向上に取り組んでほしい。	C	⑦自己評価：取組AB81.2% 成果AB80.1% 体力テストスコア535P 全学級 運動遊びの実施 習慣化が課題	C	保護者・体力テストの結果も踏まえて、一層の体力向上に取り組んでほしい。	体育授業 問題解決的な学習の取り入れ 運動遊びの学級展開
教育の推進 共生社会の実現に向けた	○特別支援教育の充実	⑧特別支援学級における個に応じた指導の充実	⑧その児童に応じた学習指導要領内容90%以上	80%		B	⑧体育的行事やたてわり班活動など共同学習の実施 支援学級 学年ごとに発達段階に応じた指導の実施	B	保護者：通常学級と特別支援の先生が連携して個別最適な支援や共生の姿勢を養っている点が良い。継続してほしい。	B	⑧たてわり班活動や体育的行事など共同学習の実施 ⑧支援学級 学年ごと・習熟度ごとに発達段階に応じた指導の実施	B	保護者：通常学級と特別支援の先生が連携して個別最適な支援や共生の姿勢を養っている点が良い。継続してほしい。	自他尊重・共生の活動・指導の充実 共同学習の継続
	○自他尊重と共生の姿勢を養う取組の充実	⑨異学年交流 ⑩教科等の指導による考え方の醸成	⑨たてわり班活動等、学期1回以上 ⑩道徳、社会科等、学期1回以上	80%		B	⑨たてわり班活動の実施 たてわり班による遠足計画中 ⑩全学級 道徳等 自他尊重・共生に関する授業実施	B	評価委員：異学年の交流は縦のつながりを学ぶ機会になる。遠足にも異学年交流を取り入れるのはよい。継続してほしい。	A	⑨たてわり班活動の実施 たてわり班による遠足や活動 ⑩全学級 道徳等 自他尊重・共生に関する授業実施	A	評価委員：異学年の交流は縦のつながりを学ぶ機会になる。様々な場面で異学年交流を取り入れるのはよい。継続希望。	異学年交流の一層の充実 自他尊重・共生の姿勢を養う教育の継続
不登校・いじめ対応の充実	○いじめの未然防止・不登校対策の実施・充実	⑪豊かな心の育成の充実	⑪ア、⑨⑩に同じ ⑪イ人間関係の道徳や学級活動等 月1回以上	75%		B	⑪ア、⑨⑩に同じ ⑪イ 全学級 道徳や学級活動等 人間関係に関する授業実施	B	保護者：学校公開で参観した授業で、先生が子どもに人間関係について考えさせたり、子ども同士のつながりを深めようとしていたのがよい。	B	⑪ア、⑨⑩に同じ ⑪イ 全学級 道徳や学級活動等 人間関係に関する授業実施 道徳公開講座100名参加	B	評価委員：迅速な対応・指導を続けてほしい。 保護者：子どもに考えさせる指導を継続してほしい	いじめ解消100%・不登校児童0の達成 関係機関や家庭との連携一層強化
	○児童の実態把握に基づいた指導の推進	⑫児童の実態把握に基づいた指導の推進	⑫ア個別アンケートと指導年3回 ⑫イ学年を軸とした指導週1回	75%		B	⑫全学級 アンケートに基づく指導・学級経営の改善の実施 個別対応会議18回実施	B	保護者：きまりやルール等の徹底を、内面から育てるモラルとしたのがよい。また迅速な対応・指導を学年で対応するのもよい。続けてほしい。	A	⑫全学級 アンケートに基づく指導・学級経営の改善 アンケート学期1回実施 個別対応会議62回実施	A	保護者：きまりやルール等の徹底などがよい。継続してほしい。また迅速な対応・指導を続けてほしい。	アンケート年3回継続 全学級授業公開継続 迅速な個別対応会議継続
	○組織的対応と学校相談の充実	⑬組織的対応と学校相談の充実	⑬ア個別対応会議等 月2回 ⑬イ学校相談 毎日 年200日	90%		A	⑬自己評価 取組：AB90% 成果：AB86.7% 相談・関わり件数9016件	A	保護者：学校としてきめ細かく相談に応じている。ふれあい月間の授業公開や校長講話、アンケートの実施など学校として対応しているのが保護者は安心する。	A	⑬自己評価 取組：AB95.6% 成果：AB89.5% 相談・関わり件数のべ19337件	A	評価委員：きめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。 保護者：丁寧な対応が大部分。不十分な対応との意見もあり。	学校相談の継続 個別対応会議の継続
学校（園）の 地域社会に 開かれた の実現	○区コミュニティ・スクール（CS）モデル校として学校・地域協働による学校運営・教育活動の充実の先行実施	⑭CS学校運営協議会の在り方と協働のモデル確立と提案	⑭アCS学校運営協議会年5回 ⑭イモデル報告2回以上	70%		B	⑭運営協議会で経営方針や取組説明。コミュニティ・スクールモデル校のあり方を実践検討中	B	評価委員：区内各校に先駆けて、コミュニティ・スクールを進めている。逐次、成果や課題、取組や改善点を伝えているのがよい。	A	⑭コミュニティ・スクールモデル校：コアプランに基づく取組協議 コミュニティ・スクールモデル校の区協カ	A	評価委員：逐次、成果や課題、取組や改善点を伝えているのがよい。コミュニティ・スクールに期待する。	コミュニティ・スクールモデル校を経て文科省指定へ 協議会の充実 教育活動の一層の充実
	○区子ども権利条例に基づく子どもの意見表明	⑮区子ども権利条例に基づく子どもの意見表明	⑮CS学校運営協議会で子どもの意見表明と受けて協議・対応2回以上	55%		C	⑮コミュニティ・スクールの中で、子どもがあいさつについての意見表明・協力依頼	C	評価委員：子どもに意見表明の場を設けているのはよい。協働して進めたい。また地域や家庭に広がっていないので、協働して広げていきたい。	B	⑮コミュニティ・スクール協議会で代表児童があいさつについて依頼 それを受けて協議	B	評価委員：子どもに意見表明の場を設けているのはよい。あいさつについて学校・地域・家庭で進めていきたい。	代表委員会児童による意見表明の場設定 児童意見表明を受けての協議と取組の実施
	○学校相談の推進・充実	⑯いつでも誰にでも相談できる相談体制の整備と実施	⑯全教職員による面談、電話、連絡帳等の相談 毎日 年200日	90%		A	⑯自己評価 取組：AB90% 成果：AB86.7% 相談・関わり件数9016件 災害時の対応 年間原則の設定（継続）児童引き渡しと学校待機の明確化	A	保護者：学校としてきめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。 評価委員：先日の台風の際、対応や情報発信が子どもや保護者のことを考えているのがすばらしかった。続けてほしい。	A	⑯自己評価 取組：AB95.6% 成果：AB89.5% 相談・関わり件数のべ19337件	A	評価委員：きめ細かく相談に応じている。保護者は安心する。 保護者：丁寧な対応が大部分。不十分な対応との意見もあり。	学校相談の継続 関わり方の日常化の一層充実
教育の 特色ある 展開	○豊かな心の育成の充実	⑰靴そろえ・交通安全・あいさつ・時間行動の基本的な生活習慣の重点指導の実施	⑰ア靴そろえ・交通安全の指導 年200日 ⑰イあいさつ・時間行動の指導 年35回	75%		B	⑰ア全学級 考えさせる指導や振り返り指導等の実施 ⑰イ定期的な重点指導実施 毎週教職員で共有 次の指導へ	B	保護者：子どもの内面から育てる「モラル」としたのがよい。継続してほしい。 評価委員：象徴的な指導取組として全校で取り組んでいるのがよい。継続・充実を期待する。	A	⑰ア全学級 考えさせる指導や振り返り指導等の実施 ⑰イ定期的な重点指導実施 毎週教職員で共有 次の指導へ	A	評価委員：学校・地域・家庭の一層の連携により挨拶の質向上・充実継続・充実を期待する。	三松小生活モラルとして靴揃えやあいさつ、交通安全、時間行動の重点化と深化
	○健やかな体の育成の充実	⑱歯科保健教育「歯ッピーアクション」の実施	⑱歯みがき指導年150回、歯科授業年3回以上など7つのACT（取組）	75%		B	⑱歯みがき毎日 全校実施 フッ化物洗口の開始 歯科指導の全校実施 事例、区校長会で紹介	B	評価委員：歯科教育を全校で取り組んでいるのがよい。歯の健康は家庭の責任。家庭が主となり進めることが肝要。	A	⑱歯ッピーアクションとして歯みがき・フッ化物洗口・関連授業等の実施 区教委主催校長会で紹介	A	評価委員：歯科教育を全校で取り組んでいるのがよい。歯の健康は家庭の責任。家庭が主となり進めることが肝要。	歯ッピーアクションの継続 歯科受診のための保護者連携・啓発